

インタビュー
Interview



味方全員を生かせる プレイヤーになりたい

輝いている人



オーストラリアの姉妹校から贈られた、ぬいぐるみの親善大使ボクサーと遠足へ行った

英語って楽しいよ！ 昭和小学校 ～世界の風を感じて～

市の英語特区の指定を受けて大きく変わったことは、外国の人と接する機会が多くなり、人との出会いや関わりを楽しむ子どもが増えてきたことです。

今年の入学式では、姉妹校であるオーストラリアのオークリー小学校から、ボクサーと名付けられた親善大使のぬいぐるみと、手作りの巨大パズルがプレゼントされました。昭和小学校からもぬいぐるみが贈られ、海を渡って多くの体験をしています。姉妹校とは、図工や習字の作品を交換したり、親善大使と一緒に活動した様子を写真に撮って送り合ったりしています。

山あいの小さな学校ですが、心は世界とつながっていると日常的に体感できることが特徴です。英語を通して人と関わることを楽しむ子どもの様子を、ぜひ見に来てください。

問い合わせ 学校教育課 (☎) 8358



入学式で、姉妹校のジェニー先生に昭和小学校から贈られたアニメのぬいぐるみ

昭和小学校オープンスクール 開催

1年生 外国語活動 平成 29年 1月 28日(土)
9:35 ~ 10:20

参観希望者は、2日前までに昭和小学校か
学校教育課に申し込みをしてください

問い合わせ 昭和小学校 (☎) 1027

ハンドボールのU-19 (19歳以下) 日本代表でキャプテンを務め、8月27日から9月5日までバーレーンで行われた、第7回男子アジアユース選手権で準優勝。来年ジョージアで開催される世界ユース選手権の出場権を見事獲得したのが、村木幸輝さん(総社高3年)だ。高校でもハンドボール部の副キャプテンを務めている村木さん。競技を始めたのは5歳のときで、12年間ハンドボール一筋だ。「一度決めて始めたことだったので、ほかのスポーツに興味をもつことがなかった」と振り返る。数多くの全国大会に出場し、U-16でも日本代表に選ばれて海外との親善試合を経験した。

各地から集った選手でつくる日本代表チーム。そのキャプテンとして、「多様なカラーをもった選手が一つになる」ことを目指している。村木さん。「まずは大学で戦っていくために、体づくりや個人のスキル向上に取り組みたい」と次のステップを見据えていた。

ハンドボールU-19日本代表でキャプテンを務め、アジアユース選手権準優勝。世界ユース選手権出場を決めた村木 幸輝さん (井尻野)

村木 幸輝さん (井尻野)

学校給食 おすすめレシピ

さばのゆずみそかけ



●材料 (4人分)

- サバ…50g×4切れ
- 調味料…中味噌=20g、砂糖=大さじ1、みりん=小さじ1、しょうゆ=小さじ1/2、ゆず(果汁)=小さじ1/2

●作り方

- ①水大さじ3と調味料を全て混ぜ合わせ、ゆずみそのだれを作る。
- ②サバを焼き、①のだれをかける。

その他の献立 ごはん、牛乳、かぼちゃのそぼろ煮、たくあんえ